



長期投資・資産形成に強い米国株ファンド

ポイント



1. 上下のブレを抑えながら、高値更新を続けている米国株に投資
2. Aコースの基準価額は2019年7月に高値を更新
3. ハイクオリティ企業への投資が、魅力的な運用特性の鍵に

1. 上下のブレを抑えながら、高値更新を続けている米国株に投資

株式投資のリターンを、低いリスクで実現

米国バリューストラテジーファンド（以下、当ファンド）は、上下のブレ（リスク）を抑制することを目指しながら、最高値を更新し続けている米国株市場に投資します。米国において同様の運用を行なう参考ファンドは運用開始から25年を迎えます。過去を振り返ると、株式投資において最も懸念される下方のブレを抑えながら、株式市場の上昇を捉えてきました。

長期投資・資産形成に適した運用スタイル

右下のグラフは、米国株市場が100上昇/下落した時に参考ファンドがどの程度上昇/下落したかを見たものです。参考ファンドは、米国株市場が上昇した際に7割程度の上昇幅に留まりますが、下落時はその幅を5割程度に食い止めてきました。

上昇時に大きく上がる一方で、下落時に大きく下がるファンドは、タイミングを見極めて投資することが重要になりますが、当ファンドは「市場の上昇を捉えつつも下値抵抗力が強い」ことから、長期投資・資産形成に適した運用スタイルと言えます。

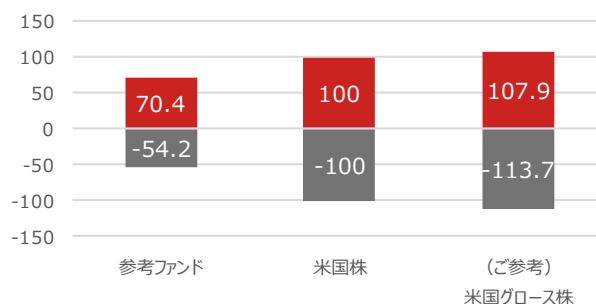
参考ファンドと米国株の推移



期間：1994年8月末～2019年7月末、月次、米ドルベース。参考ファンド、米国株については、4ページをご参照ください。

（出所）ブルームバーグおよびアメリカン・センチュリー・インベストメンツからの提供データを基に野村アセットマネジメント作成

キャプチャー・レシオ比較



■ アップサイド・キャプチャー・レシオ ■ ダウンサイド・キャプチャー・レシオ

期間：1994年9月～2019年3月。参考ファンド、米国株、米国グロース株、アップサイド・キャプチャー・レシオ、ダウンサイド・キャプチャー・レシオについては、4ページをご参照ください。
（出所）アメリカン・センチュリー・インベストメンツからの提供データを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

2. Aコースの基準価額は2019年7月に高値を更新

米国株の上昇を捉え、7月に高値を更新

右上のグラフは、2016年11月15日に設定された当ファンドAコースの分配金再投資後基準価額の推移を示しています。基準価額の上下はあるものの、2019年7月には米国株市場同様に当ファンドは設定来高値を更新しており、同市場の動きを捉えていることがご確認頂けます。

下落局面での下値抵抗力は健在

上昇を続ける米国株市場ですが、昨今では、政治や経済の先行き不透明感から、上下のブレが大きくなる局面がしばしば見受けられます。

例えば米中貿易摩擦の激化を背景に、昨年9月末から12月末にかけて米国株市場は14.2%※下落しました。また、今年に入り回復基調にあった同市場は米中貿易摩擦の再燃や米金融政策を巡る不透明感を背景に、5月に4.5%※下落する展開となりました。こうした中、当ファンドの下落率はそれぞれ8.8%（米国株市場の6割程度）、2.2%（米国株市場の5割程度）に留まり、下値抵抗力を発揮する形となりました。

値動きの荒い展開が続く昨年9月末以降のパフォーマンスを通しで見ると、当ファンドは米国株市場と変わらないリターンを確保しつつ、リスクを抑えた運用をしていることが分かります。

今後の株式市場についても、ボラティリティの高まりを警戒する市場参加者の声が増えています。こうした状況だからこそリスクを抑えた株式運用が注目されるものと考えます。

※市場の騰落率は、ファンドの市場評価タイミングに合わせて算出しています。

設定来の基準価額（分配金再投資）の推移



期間：2016年11月15日（ファンド設定日）～2019年8月14日、日次
米国バリューストラテジーファンド Aコース
基準価額（分配金再投資）については、5ページをご参照ください。

2018年9月末以降の推移



期間：2018年9月28日～2019年8月14日、日次
・米国バリューストラテジーファンド Aコース 基準価額（分配金再投資）については、5ページをご参照ください。米国株については、4ページをご参照ください。
（出所）ブルームバーグのデータ等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

3. ハイクオリティ企業への投資が、魅力的な運用特性の鍵に

企業の質（クオリティ）に着目

当ファンドが「市場の上昇を捉えつつも下値抵抗力が強い」背景には、CBを活用するほか、ハイクオリティ企業の選別を重視することが挙げられます。このハイクオリティ企業とは、高い業界シェアを誇り、利益率が高く財務体質が健全な企業を指します。

2019年7月末現在の組入上位10銘柄を見ると、医療機器の分野で最大級のメドトロニックや日用消費財の分野で最大級のP&Gなど、各分野のリーディング・カンパニーが並んでいます。

このような企業は、安定したビジネスモデルと高い「稼ぐ力」を有しており、継続的な業績成長に加え、配当などを通じた株主還元も期待できます。

軟調な相場環境でも安定した企業業績が見込めるハイクオリティ企業への選別投資を通じて、当ファンドは堅調なパフォーマンスを目指します。

幅広い世代のニーズにマッチした株式ファンド

参考ファンドの実績を見ると、当ファンドがユニークなリスク・リターン特性を有していることが分かります。米国株や米国リートと同程度の高いリターンをそれら資産よりも低いリスクで実現してきた、米国ハイ・イールド債や米ドル建て新興国債と同程度のリスクで米国株並みのリターンを実現してきた、という点です。

こうした特性を有していることから、米国では、本来、過度なリスクを取ることでできない高齢な方々にとっての理想的な株式ファンドとして、リスクを取れる若年層の方々にとっての理想的な債券代替ファンドとして、幅広い世代の投資家の支持を得ています。

記載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

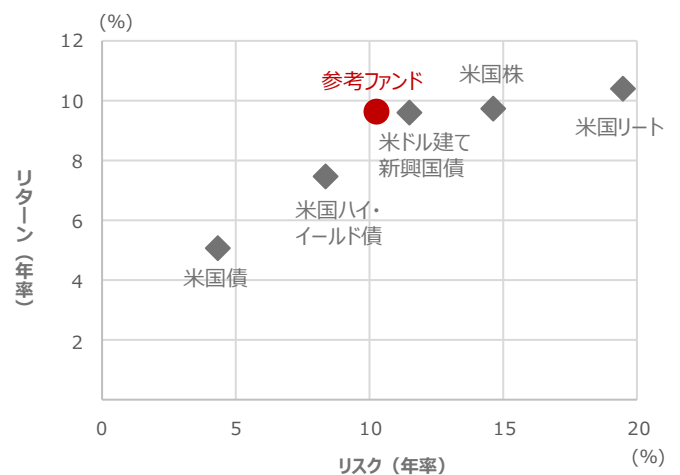
* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みに際してのご留意事項】を必ずご覧ください。

組入れ上位銘柄と概要

組入1位	メドトロニック
世界最大級の医療機器メーカー	
組入3位	PNCファイナンシャル・サービスズ・グループ
世界最大級の運用会社「ブラックロック」の筆頭株主	
組入4位	ベライゾン・コミュニケーションズ
世界最大級の通信企業	
組入5位	トタル
世界最大級のエネルギー企業	
組入6位	プロクター・アンド・ギャンブル
P&G。世界最大級の日用消費財メーカー	

時点：2019年7月末現在
組入2位はETFのため割愛しています。
(出所) 各種資料を基に野村アセットマネジメント作成

各資産とのリターン・リスク比較



期間：1994年8月末～2019年7月末、月次、米ドルベース
参考ファンド、並びに使用した指数については、4ページをご参照ください。
(出所) ブルームバーグおよびアメリカン・センチュリー・インベストメンツの提供データを基に野村アセットマネジメント作成

<参考ファンドについて>

参考ファンドとは「米国バリューストラテジー マザーファンド」と同様の運用体制・方針を持つU.S.バリューストラテジー戦略のコンポジットの運用実績（1994年9月1日算出開始）です。よって、ファンドの運用実績ではありません。あくまでご参考としてご理解ください。なお、ファンドと同じ運用管理費用（信託報酬相当分の年1.836%）を控除しています。

<当資料で使用した指数について>

米国株：S&P500株価指数（配当込み）
 米国グロース株：ラッセル3000グロース株指数（配当込み）
 米国リート：S&P米国リート指数（配当込み）
 米国ハイ・イールド債：ICE BofAML US High Yield Index
 米ドル建て新興国債：JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル
 米国債：ブルームバーグ・バークレイズ米国国債指数

<当資料で使用した指数の著作権等について>

●S&P500株価指数、S&P米国リート指数は、スタンダード・アンド・プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。●ラッセル3000グロース株指数は、フランクリン・ラッセル・カンパニーの所有する登録商標です。●「ICE BofAML US High Yield Index SM/®」は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社（「ICEデータ」）の登録商標です。当ファンドは、ICEデータによって支持・推奨・販売・販売促進されるものではなく、また、ICEデータは当ファンドに関して一切の責任を負いません。●JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル（JP Morgan Emerging Markets Bond Index (EMBI) Global）は、J.P.MorganSecurities LLCが公表している、エマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。●ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

<アップサイド・キャプチャーレシオ／ダウンサイド・キャプチャー・レシオについて>

上昇局面（アップサイド）または下落局面（ダウンサイド）において、ファンドが市場指数に対してどの程度のパフォーマンスだったかを表します。市場指数を100とした場合の値を示しています。当資料での算出方法は、米国株（S&P500株価指数）が上昇（下落）した月の米国株（S&P500株価指数）の平均リターンを分母、当該月のファンドの平均リターンを分子にして、幾何平均で算出しています。

「米国バリュー・ストラテジー・ファンド（愛称：クオリティ・フォーカス）」

ファンドの運用状況

基準価額の推移

期間：2016年11月15日（設定日）～2019年8月20日、日次

<Aコース（為替ヘッジあり）>



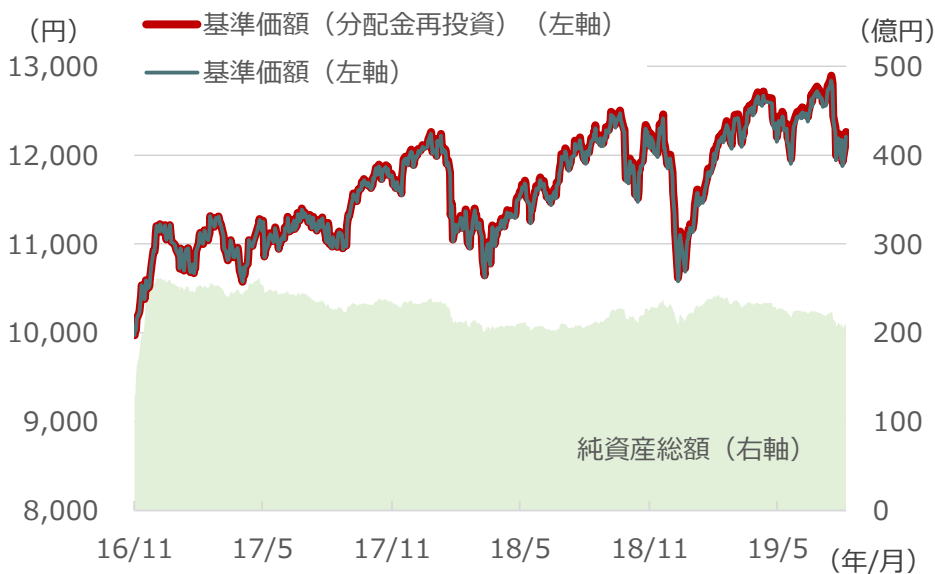
2019年7月31日現在

騰落率

期間	ファンド
1か月	1.9%
3か月	3.7%
6か月	9.8%
1年	6.2%
設定来	21.7%

騰落率の各計算期間は、上記基準日から過去に遡った期間としております。

<Bコース（為替ヘッジなし）>



2019年7月31日現在

騰落率

期間	ファンド
1か月	2.9%
3か月	1.6%
6か月	11.0%
1年	6.9%
設定来	28.5%

騰落率の各計算期間は、上記基準日から過去に遡った期間としております。

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したもとして計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

「米国バリューストラテジーファンド（愛称：クオリティフォーカス）」

【ファンドの特色】

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 米国の金融商品取引所に上場している企業の株式(DR(預託証券)^{※1}を含みます。)を実質的な主要投資対象^{※2}とします。なお、投資対象には転換社債等^{※3}、上場投資信託証券(ETF)および優先株が含まれます。
 - ※1 Depository Receipt(預託証券)の略で、ある国の株式発行会社の株式を海外で流通させるために、その会社の株式を銀行などに預託し、その代替として海外で発行される証券をいいます。DRは、株式と同様に金融商品取引所などで取引されます。
 - ※2 「実質的な主要投資対象」とは、「米国バリューストラテジー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
 - ※3 ファンドにおいて「転換社債等」とは転換社債、普通株転換権付き優先株、他社株転換社債等を指します。
- 株式への投資にあたっては、時価総額、資本利益率および財務体質等を勘案して選定された銘柄に対して、綿密な調査に基づいたファンダメンタルズ分析を行ない、バリュエーション等を考慮して組入銘柄を決定します。
- ポートフォリオ構築にあたっては銘柄分散に配慮します。また、ポートフォリオの利回り向上、価格変動性の抑制および下値保全等の観点から、組入銘柄の株式への投資に代えて当該銘柄の転換社債等へ投資を行なう場合があります。
 - ◆ 効率的な運用を行なうため、上場投資信託証券(ETF)を活用します。
- Aコースは原則として為替ヘッジを行ない、Bコースは原則として為替ヘッジを行ないません。
- ファンドは「米国バリューストラテジー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インクに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。

委託する範囲	株式等の運用
委託先名称	American Century Investment Management, Inc. (アメリカン・センチュリー・インベストメント・マネジメント・インク)
委託先所在地	米国 ミズーリ州 カンザスシティ市

- 原則、毎年4月および10月の27日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
 - * 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

《分配金に関する留意点》

ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

「米国バリュー・ストラテジー・ファンド（愛称：クオリティ・フォーカス）」

【投資リスク】

各ファンドは、株式および転換社債（CB）等を実質的な投資対象としますので、当該株式の価格下落、当該転換社債等の転換等対象株式の価格下落や金利変動等による当該転換社債等の価格下落や、当該株式および当該転換社債等の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2027年4月27日まで（2016年11月15日設定）
- 決算日および収益分配 年2回の決算時（原則4月および10月の27日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位（当初元本1口＝1円）
または1万円以上1円単位
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が、「ニューヨーク証券取引所」の休場日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

(2019年8月現在)

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%※（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ※2019年10月1日以降消費税率が10%となった場合は、3.3%となります。 ＜スイッチング時＞ 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 * 詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.836%※（税抜年1.70%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ※2019年10月1日以降消費税率が10%となった場合は、年1.87%となります。 * ファンドが実質的に投資するETFでは、管理報酬等の費用がかかります。投資するETFを通してファンドが実質的に負担する費用については、運用状況等により、投資比率、投資期間、投資銘柄およびその管理報酬等の費用が異なるため、事前に合計した料率、合計額、又は上限額等を表示することができません。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額（ご換金時、スイッチングを含む）	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会/
 一般社団法人日本投資顧問業協会/
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104
 （受付時間）営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★
<http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★
<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

米国バリュー・ストラテジー・ファンド Aコース/Bコース

愛称:クオリティ・フォーカス

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○
株式会社足利銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第43号	○		○	
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
京銀証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第392号	○			
北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○			
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○			
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。